



**釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz**

# **活動報告書**

**2022年9月～2023年8月**



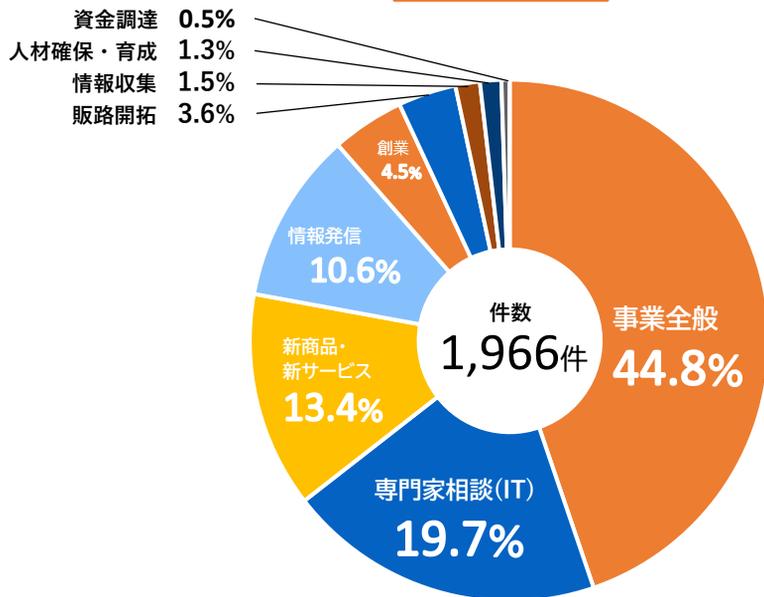
# 5年目の実績

## 相談件数

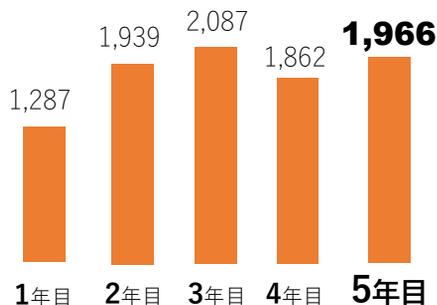
2022年9月～2023年8月 **1,966** 件 (1日平均 7.8 件)

オープンから累計 **9,141** 件

### 相談内容



### 相談件数の推移

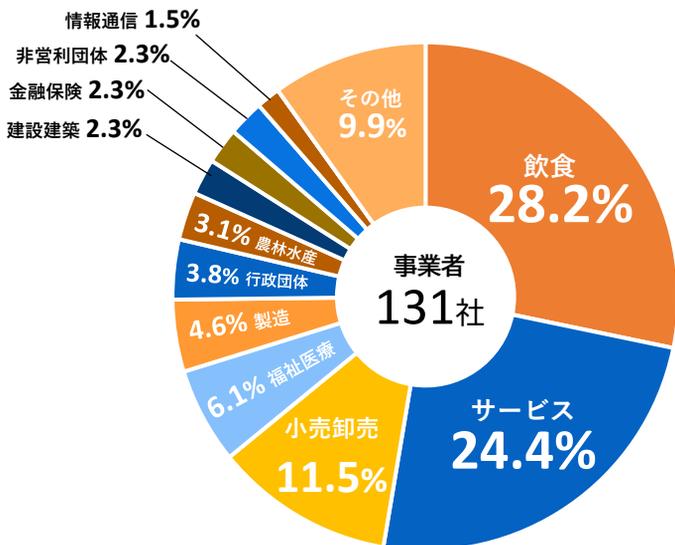


## 新規申込事業者数

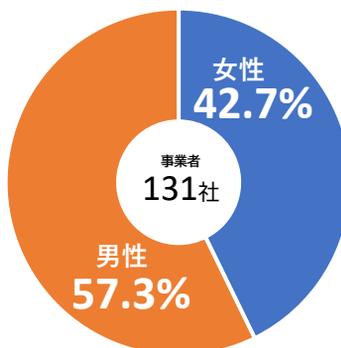
2022年9月～2023年8月 新規事業者 **131** 社

オープンから累計 **1,041** 社

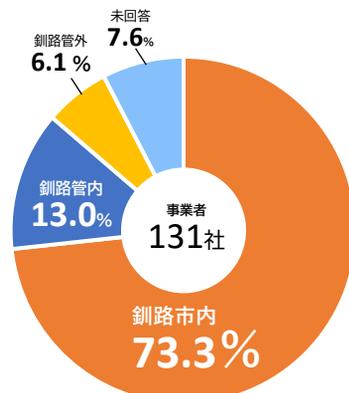
### 業種割合



### 性別割合



### 所在地割合

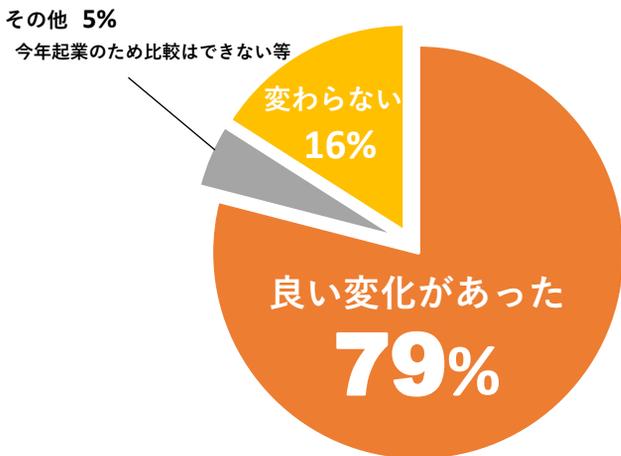


# 5年目の実績

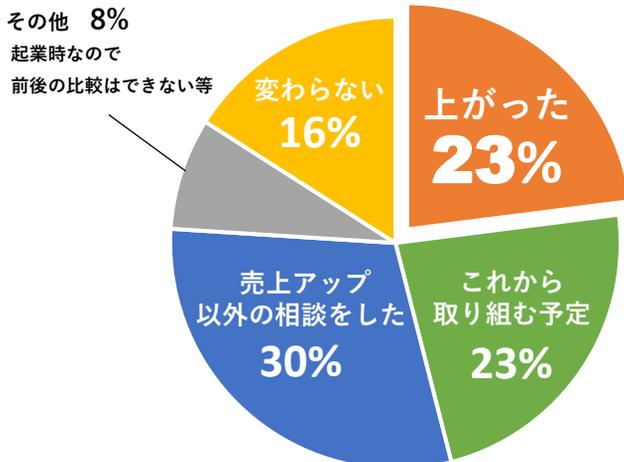
## 相談者アンケート

対象：2022年9月1日から2023年8月31日までの来所相談者  
調査主体：釧路市ビジネスサポート協議会  
調査方法：インターネットアンケート  
送付数：259件 有効回答数：100件（38.6%）

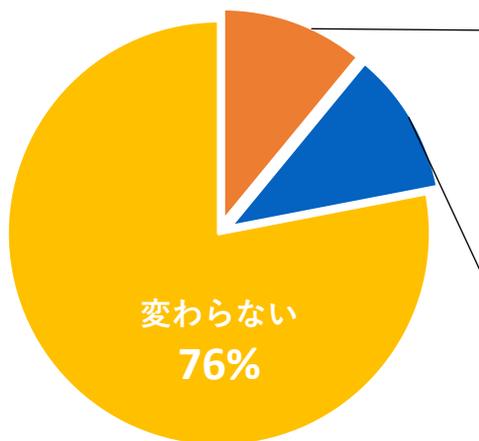
### Q1. k-Bizへの相談により ご自身や会社に良い変化はありましたか？



### Q2. k-Bizへの相談により売上は上がりましたか？ ※会社全体の売上ではなく、相談した（提案を受けた）部分について

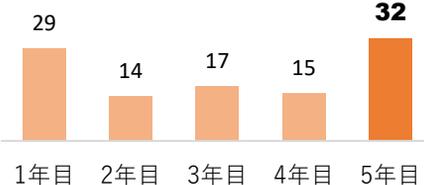


### Q3. k-Bizへの相談により雇用は増えましたか？



【雇用増数】累計 **107**人

増えた  
**12%**



【創業者数】累計 **57**人

創業した  
**12%**



## セミナー開催

開設4周年を記念し、「不屈の精神を学ぶ！チャレンジスピリッツ」と題し、以下の2つのセミナーを開催。

### 2022年10月29日「自らも前科者の経営者が語る 出所者の雇用」

自身も前科者であり、更生後に設立した株式会社ドリームジャパンの長原和宣氏は、同じ境遇である前科者の方々を数多く雇用。前科者の更生を支えるという大きな挑戦を続ける長原氏から、「出所者の雇用」をテーマにお話いただき、そのチャレンジスピリッツに迫る内容となった。



### 2022年11月5日 「トップアスリートから学ぶ 起業家精神」

元プロ野球選手で野球指導者の副島孔太氏から、現役時代にはトップアスリートとして、引退後は多数の事業を手掛けてきた経験についてお話しいただき、さらに元甲子園出場投手で現在は野球ショップ「リッキースポーツ」の代表を務める後藤健匠氏、元日本製紙クレインズ（当時）でアイスホッケー選手として活躍した後、道東最大級ドッグラン「Stubble Village」を開業した大嶋良介氏によるパネルディスカッションを開催し、3名から起業家精神について、お話をいただいた。





# 支援事例1 オリエンタルプラザ（東洋ビル開発株式会社）

コロナ禍でダメージを受けた飲食テナントの支援のため集客と収益確保を支援する自社アプリを企画。高難度なシステム発注を伴走し開発実現

- 開業：1985年
- 代表：瀧波 大亮
- 従業員：12名
- 事業内容：飲食ビル経営
- 住所：釧路市末広町5-13



## 相談内容

飲食テナントの集客サポートと賃料以外の収益源を実現するため、店舗紹介と利用ごとに現金が還元されるアプリを開発したいがノウハウがない。

## ディスカッション

- 強み 経営する飲食ビル「オリエンタルプラザ」は釧路でNo.1の店舗数のスナックビル。
- 想い コロナ禍でテナント支援のため家賃無料施策を実施。テナントとの関係性が良好となり、退店が減少、出店希望も増加。その経験から継続的にテナント支援を行うアプリ開発を決意。
- 課題 やりたいことは明確だが、アプリ開発や発注の経験がないため、どう機能に落とし込むか、どう開発すればよいかなどがわからない。

**システム発注では開発会社への提案依頼（RFP）を明確にし、開発内容を確認することが重要  
実現したい機能のモデル化をサポート。開発会社との定例会議に参加し開発の道のりを支援**

## サポート

- 実現したい機能のモデル化 ユーザーへのサービス、テナントへのキャッシュバックなど求める機能の実現に向け、データの流れや必要な機能など、ビジネスモデル化を支援。開発会社への依頼内容を明確化。
- 実現のための環境づくりサポート 地元金融機関と協働し事業再構築補助金の採択に向けたサポート。また開発会社の選定に向けて提案内容や見積り内容の確認と助言を実施。また開発に向けた会議同席など徹底伴走。



ノマサル  
nomasaru



## 成果

- 事業再構築補助金に採択（総事業費の2/3補助）され、事業期間内にアプリ開発～リリースを実現。予定通りの機能実装・予算で開発が完了。
- 新聞、テレビ（NHK）などで多数紹介され話題に。コロナの影響が残る中、リリースから2週間で会員数は500人を突破。
- テナントからは「アプリきっかけの来店が増えた」、「キャッシュバックされる仕組みはありがたい」など好評。当初の思いだったテナント支援が形に。

相談者の声：東洋ビル開発株式会社 代表取締役 瀧波 大亮 様



事業構想は以前からありましたが、アプリ開発の経験も知識も無く、相談できる相手もいなかったため、このまま実現しないのではないかと考えていました。k-Bizに相談したところ、私の想いに深く共感していただき、開発会社の選定からアプリの要件定義、定期的な打合せなど、非常に難しいプロジェクトでしたが最後まで伴走いただき、ほぼ100%思い通りのアプリをリリースすることができました。k-Bizなしでは実現できなかったもので、とても感謝しています！

## 支援事例 2 ピゼリ (有限会社宮地)

コロナ禍で売上ダウンの老舗お土産菓子店。地元で話題になることを焦点に据えて55年目にして初"本当にしししゃもの入ったしししゃもパイ"開発をサポートし大ヒット

- 開業：1987年
- 代表：宮地 良彦
- 従業員：1名
- 事業内容：菓子製造
- 住所：釧路市桜ヶ岡5-1-2

### 相談内容

お土産菓子「しししゃもパイ」のみを製造販売。コロナ禍での旅行控えで売上が大幅ダウン。土産ニーズのない中で早期にキャッシュが必要。



### ディスカッション

- 強み 主力商品の「しししゃもパイ」は全国的に有名なうなぎパイよりも歴史が古い釧路銘菓。
- 課題 「しししゃもパイ」は土産菓子のため、旅行客が戻らないと売上が回復しない。地元では認知はあるが、その歴史や地元菓子店の手作り商品であることなどは周知されていない。
- トレンド 老舗の新たなチャレンジは、意外性からメディア等でたびたび注目される。コロナ禍で、買って応援する機運は、クラウドファンディングを中心に高まっている。

**地元の人に再注目され、その歴史や手作りのこだわりを知ってもらうことが重要**  
**そこで55年目の初挑戦となる「しししゃも入りパイ」開発と情報発信を提案**

### サポート

- しししゃも入りパイ製造サポート しししゃもの調達や粉碎加工・原価面が課題だったが、柿田商店から不揃品の調達、さらに粉碎も釧路海洋フーズが引受け、高品質なしししゃもパウダーの安価での調達実現をサポート。
- 情報発信 しししゃも入りパイを限定品としてクラウドファンディングを実施。歴史やこだわりを伝えることで、地元メディアやSNSでも話題に。

### 成果

- クラウドファンディングは目標額100万円のところ128万円を達成。SNSなどで拡散されることで道内だけでなく道外からの支援が集まった。
- クラウドファンディングでキャッシュが獲得できただけでなく、話題性から地元での購買も増加。コロナ禍ながら生産が追いつかないほどに。
- 返礼品として届いたしししゃも入りパイが好評だったため、レギュラー商品化としてお土産店での販売が決定。

相談者の声：有限会社宮地 代表取締役 宮地 良彦 様



コロナにより販売先が休業するなど影響が大きく大変だった時に、取引先の土産物屋からk-Bizを紹介されて相談に行きました。クラウドファンディングの徹底サポートをしていただき、色々な人と繋がりを持てたことがよかったです。また、しししゃも入りパイがメディアに取り上げられたことで、市内の土産物として最注目され、新たに観光案内パンフレットに取り上げられました。今後も、自分ができる範囲で頑張ってやっていきたいと思えます。



## 利用者の絶えない保育施設の質を保ちながら、経営面を他社が引継ぎ。地域に欠かせない機能を残すため関係機関と連携しM&Aの徹底伴走

- 開業：2017年
- 園長：黒谷 浩美
- 従業員：8名
- 事業内容：認可外保育施設
- 住所：釧路市栄町10-11-3

### 相談内容

利用者からの評判は高いものの、採算性が低く、経営面の改革が必要であったが、現場業務が多忙のため経営面に時間を割くことができない。



### ディスカッション

- 強み 親と子どものどちらにとっても理想の保育を目指した保育士3名が設立した認可外保育施設。短時間での預かりも対応しており、各保育士の保育の質が高く、受付を断ることがあるほど人気の施設。
- 課題 ニーズの多い短時間での利用を優先すると赤字となってしまい、理想と採算性のバランスをとる経営の構造改革が必要だが、業務多忙で経営面の改革が進まない。
- 外的要因 市内でエステサロン等を経営する企業「株式会社M」が保育事業に強い関心をもっているが、保育士の確保の難易度の高さから、具体的には進んでいなかった。

**事業継続の選択肢として、M&Aを提案。**

**「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し、法務関係も円滑に進む体制づくりを実現**

### サポート

- 丁寧なヒアリングを元にしたマッチング 売り手（HAYHOME）と買い手（株式会社M）の想いをじっくり時間をかけてヒアリングし、双方にメリットが生まれる形でのマッチングを提案。
- 専門機関との連携 北海道事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、手続き面でも必要な伴走支援を実施。



### 成果

- M&Aが実現し、地域のニーズに応える保育サービスを安定した経営基盤の中で提供を続けることを実現。
- エステサロン事業と連携し、母親が子どもを預けながら施術を受けられるサービスも新たに展開。
- 事業承継の優良事例として、専門番組に取り上げられる。



相談者の声：HAYHOME+ 園長 黒谷 浩美 様



k-Bizはオープン前の説明会にも参加し、釧路にもこのような施設ができることに大変期待しておりました。M&Aについて提案いただいた際には、そんな方法があるのかと大変驚いたと同時に、この施設を継続できる希望が生まれ大変嬉しかったことを覚えています。今は経営面をお任せできることで新しいことに取り組んだり、より良い保育についてスタッフと考える時間ができ、以前とは違った忙しさはありますが、日々やりがいを感じながら取り組んでいます。

## 釧路の炉端焼き文化発祥の名店が火事で全焼。地域一体となって支援を実施。クラウドファンディングでは860万円を集め再開の足がかりに

- 開業：1951年
- 代表：中島 レナ
- 従業員：6名
- 事業内容：飲食店
- 住所：釧路市栄町3-1



### 相談内容

釧路の炉端焼き文化発祥の有名店を経営していたが、隣店舗火事の延焼で店内が全焼。高まる支援の声をどのように形にするかアドバイスが欲しい。

### ディスカッション

- 強み 釧路の炉端焼き文化発祥の店として、釧路市内外での知名度は圧倒的。支援を申し出る声も多く、そうした声を再開に向けて取りまとめたい。
- 課題 支援の申し出はありがたいものの、どのように受け取ればよいか迷っている。地元では名前は知られていても、経営への想いまではあまり知られていない。

**常連客である地元名士からの直接支援と、想いに共感してもらってクラウドファンディング支援を分けて実施を提案。後者では店の歴史や再建への想いをストーリーにし、地元での認知獲得と支援の機運醸成を実施**

### サポート

- 常連客の地元名士へは直接支援を手紙で訴えかけ 被災当初から支援を申し出ていた地元名士へは直接ご支援をお願いする手紙を作りご案内。
- 知られていなかった歴史と再建への想いを明文化 代々女性が繋いできた店の歴史、新たに女将として再建を主導する実亜さんの想いなど、地元でも知られていなかった店の歴史や理念を文章化してクラウドファンディングを実施。



### 成果

- クラウドファンディングは地元メディアやSNSでも話題になり、地元を中心とした支援の声の広がりに、860万円超の大きな支援を集める結果に。クラウドファンディングをきっかけに新たな顧客獲得にも繋がった。
- 火災から約一年後、無事に再オープンを実現。



相談者の声：有限会社炉ばた 女将 中島 実亜 様



店の再開を躊躇していたところ、k-Bizを紹介してもらいました。k-Bizからはクラウドファンディングを進行する中で、プレスリリースやメディア関連のサポートなど、想定外の方法での支援を得ることができました。これにより、再開に対する躊躇いが解消され、顧客との良好な関係を築くことができました。将来的には、顧客との協力のもとでコラボ商品などの制作にも挑戦してみたいと思っています。

## 釧路初の医療アートメイクサロンの開業に向けて、都市部に負けない信頼度・安心感を得られる情報発信を中心にサポート。

- 開業：2023年
- 代表 河村 遥
- 従業員：0名
- 事業内容：アートメイクサロン
- 住所：釧路市若竹町14-5 やひろクリニック内

### 相談内容

自身で技術を身に付けたアートメイクを施術するサロンを開業したい。



### ディスカッション

- 強み 全国的に需要が伸びている中、釧路管内でも一定の需要が見込める。また、ご自身が医療従事者であり、たゆまぬ技術習得を続けており都市部に引けを取らない施術を提供できる。
- 課題 札幌などの都心部のアートメイクに比べて、釧路市内というだけで信頼度が下がり、売上も集客も伸びないことが想定された。
- 外的要因 医療従事者が施術しない違法のアートメイクが存在する市場であり、業界への不信感はある領域。

**違法サロンは元より都市部のアートメイクサロンに劣らない信頼と安心感を与える情報発信を提案  
その他にも初の独立開業を全面的にサポート**

### サポート

- 情報発信 医療アートメイクサロンとして地元店への不信を払拭しながら、違法アートメイク施設との明確な差別化を見せられる情報の発信をアドバイス。本人のプロフィールや思いをきちんと載せることを重視。
- HPやSNS等の整備をサポート スクーリング時から想いや施術例を発信していたInstagramを活かしながら、アートメイクについてやコンセプトをまとめたHPの整備をサポート。



### 成果

- 開設からすぐに6ヵ月分の予約が埋まり、その後も継続して予約が入る人気店に。
- Web/SNSで医療アートメイクのメリット・リスクなどの情報を発信、症例を充実させたことで信頼を獲得、問い合わせ増に繋がった。

相談者の声： artmake.haruka 代表 河村 遥 様



k-Bizのサポートを通じて、アートメイク開業において様々な側面で頼りになる支援を受けました。開業の決断から始まり、一人では克服が難しいと感じるタスクに関して、k-Bizからのマーケティング支援や専門的なアドバイスを受け、安心感を得ることができました。これからもアートメイクの運営を精力的に進めつつ、引き続きk-Bizのサポートを有効に活用していきたいと考えています。

## 店舗の事業継続に向け、お店の特徴を生かした「ローカルクラウドファンディング」をサポート。お客とお店の絆を見える化し、事業継続中！

- 開業：1987年 ■代表：木戸 日出明 ■従業員：2名
- 事業内容：飲食店 ■住所：釧路市益浦4-1-14

### 相談内容

業績の落ち込みで経費負担が重くなり、今後事業を継続していくか悩んでいる。



### ディスカッション

- 強み 周辺の炭釜の全盛期は夜勤明けの方向けに朝から営業するなど、地域では有名な存在であり、現在はあまり利用していないが、過去利用していたという方が多い。玉ねぎが丸々1個入った玉ねぎラーメンなど創作ラーメンが得意。
- 課題 炭釜の規模が縮小されて以降、地域の人口が減り、高齢化が進んでいるエリアにあり、売上の減少はもとより、お店の存在意義を店主も感じづらい状況になっていた。更にコロナ禍により売上が減少し、店舗の維持管理費や物価高騰による経費負担が重く、店主夫婦の高齢化でお店の継続が不安な状況。

**お客とお店の“絆の見える化”のためWebを用いず、来店して支援する「ローカルクラウドファンディング」を提案**

苦しい状況を包み隠さず伝え、安定経営のめどが立った後から使用できる食事券を店頭販売

### サポート

■「ローカルクラウドファンディング」の提案 手数料もかからず、市内顧客の来店で支援してもらえる策を提案。お客とお店の絆が目に見える形として、購入された食事券を店内に掲示。また、高齢の店主夫婦にも実行可能なようにオペレーションを簡素化。

■情報発信 支援の方法を伝える店内掲示物の制作やSNSでの情報発信をサポート。



### 成果

■100名以上の方からラーメン1,000杯以上の利益に相当する30万円を超える支援が集まり、店主のモチベーションが回復。

■Twitterで拡散され、既存顧客だけでなく若い層にも認知が広がり、持続的に支援が集まっている。



相談者の声：愛楽亭 代表 木戸 日出明 様、阿部 瑞希 様



事業の継続を考えて落ち込む父を近くで見ている、この状況をどうにかしたいと思いk-Bizに相談しました。今の父を見ていると相談してよかったと思います。（阿部様）  
多くの方に食事券をご購入いただき、また応援メッセージもいただきました。この食事券を見ると、「くじけてられない、頑張ろう！」と思えます。また、メディア掲載がきっかけで、遠方からも新規客が応援目的で来てくれました。これからは、いただいた応援を糧に、新メニューの開発などにも取り組みたいです。（木戸様）

相談予約受付中！

## 釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz

- 運営：釧路市ビジネスサポート協議会
- 〒085-0015 北海道釧路市北大通4丁目1-1北大通4丁目ビル2F
- 営業日：毎週火曜日から土曜日（祝日・年末年始を除く） 9時～17時
- FAX：0154-68-5634 URL：<https://www.kushiro-biz.net/>

☎0154-68-5624 ✉[info@k-biz.kushiro.jp](mailto:info@k-biz.kushiro.jp)

最新情報はコチラ！



スタッフブログ



Facebook

### 釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz活動報告書 2024（令和6）年2月

作成：釧路市ビジネスサポート協議会  
〒085-8505 釧路市黒金町7-5 釧路市役所商業労政課内  
Tel：0154-31-4548  
E-mail：[sho-shougyourousei@city.kushiro.lg.jp](mailto:sho-shougyourousei@city.kushiro.lg.jp)